■添田唖蝉坊　　演歌師。社会主義を信条に，痛烈な風刺を軽いユーモアで，<日露戦争>後の大衆歌謡をリードした。
そえだあぜんぼう
学問のすすめ1872＝　　神奈川県大磯の農家の次男として生まれた。
明治6年政変 1873＝ 1歳：

明治14年政変1881＝ 9歳：

内閣発足・・1885＝13歳：父に伴われて上京，汽船の乗組機関士をしていた叔父宅に預けられ，浅草などの盛り場を見学。
航海で不在がちながら勤勉家の叔父やその家に集まる船員たちに影響されて，機関士を志望，
国民之友始・1887＝15歳：叔父のに背いて手を離れ，若年のため，やむなく船客ボーイとなったが，
やがて見込みの無いことに気付いて，海上生活を断念しようと，
帝国憲法発布1889＝17歳：横浜で下船して遊んでいるうち，コレラ流行のため船が検疫船となっていなくなってしまい，横須賀に向かうち，誘われて軍用工事飯場の土木作業員となり，木賃宿に住み慣れて，職を転々とするうち，
帝国議会始・1890＝18歳：_横須賀の街頭で壮士たちが歌う愛国調の演歌"壮士節"を聞いて感激，一変に虜となり，歌本を売って歩くと好調で，演歌壮士となることを決意。兵役検査のため帰郷し，乙種合格後，横須賀近辺を流すうち，
大本教・・・1892＝20歳：_演歌を種とする{自由党}応援団の{青年倶楽部}で有名となって勧誘され，上京して入会する。
郡司千島探検1893＝21歳：_政治運動の高まる倶楽部内で演歌に徹することに活路を見出し，おりからブームとなった福島中佐のシベリア単騎横断・郡司大尉の端艇遠征などに取材した先輩会員作詞の演歌を流して稼ぎながら，壮士演歌の作詞を始める。弟の起こした借財問題ため呼ばれて帰郷，解決策を示して帰京後，日清戦争が主題となり，
日清戦争始・1894＝22歳：
日清戦争終・1895＝23歳：_戦後の腐敗を目にして，歌と演説で社会改良を訴え，北陸をはじめ地方を巡演するうち，民謡調のメロディを自作にとりいれるようになり，
子規句歌革新1898＝26歳：実家の弟の問題が父の甘さから解決どころか破綻状態となって呼び出され，兄のため奔走，義兄の同情で兄が"ハンケチ屋"を開業，大成功で借財を一気に解消することになるなどした後，
Bushidou・・1899＝27歳：*横江鉄石との共作「ストライキ節」が最初のヒット作となった。
ﾋﾟｱﾉ国産化・1900＝28歳：{自由党}が解消されるとともに，{青年倶楽部}も，会員の乱酒狂暴などの近所迷惑から警察に追われ，
田中正造直訴1901＝29歳：ついに解消したため，{東海矯風団}の名で演歌を続けるとともに，押されて結婚後，{二八新報}を発行。
教科書疑獄・1902＝30歳：八甲田山雪中行軍遭難事件に取材した「雪粉々」が大ヒットするも，知合いの借金整理に巻き込まれ，{二八新報}も廃刊したため，義兄の勧めで自分もレース工場を創業したが，俳句を始め，長男が誕生後，
日比谷公園・1903＝31歳：たちまち経営に失敗。妻が裁縫学校へ教えに出，自宅に弟子を取って凌ぎ，京阪地方などを演歌旅行中，
日露戦争始・1904＝32歳：_<日露戦争>となり，「ラッパ節」を創ると大流行。
日露戦争終・1905＝33歳：_堺利彦から「ラッパ節」の替歌を依頼され，「社会党ラッパ節」つくる。この頃，それまで楽々と喋れたのが，拳を握っての訥弁となり，演歌仲間の醸す雑然とした雰囲気にも耐えられなくなって，
満鉄発足・・1906＝34歳：*家を替えて{うしお会}を組織，社会主義を信条とするに至り，唖蝉坊を名のって，「ラッパ節」の新作のほか多くの新作を出す。
韓国反日暴動1907＝35歳：「魔風」が出版法違反で拘束されたが，友人が罰金を支払ってくれて出る。社会党評議員となり，家計が厳しくなり，妻も堺夫人と運賃値上げ反対のビラを配って検束されるなどするなか，{週刊社会新聞}記者の肩書きで東北から北海道に遊説，
ｱﾗﾗｷﾞ創刊・ 1908＝36歳：帰京して見ると，かって見知った小繁が桃中軒雲右衛門となって大人気，妻は婦人運動の先鞭者のように新聞に書かれるも病臥するようになる。_{東京社会新聞}創刊号に「増税節」をに発表。「袖しぐれ」がヒット。
伊藤博文暗殺1909＝37歳：父が死去。この間，妻を大磯の母のもとへ療養に出し，自らは新たな演歌を模索する。
韓国併合・・1910＝38歳：母と合わずに東京に戻って，長女を出産直後，妻が死去，放心状態となる。俳誌{うしほ}を創刊。
大逆事件判決1911＝39歳：*作詞作曲した「むらさき節」が大流行，演歌黄金時代が到来し，
明治天皇没・1912＝40歳：
_以後，殆どを自作自演，「ああ金の世」「ああわからない」などで大正初年にかけての大衆歌謡をリードする。痛烈な風刺を軽いユーモアの曲調にのせるところに唖蝉坊演歌の特色があり，社会主義者のフラクション抗争には超然としていたが，演壇からの話が警官によって'弁士中止！'となっても演歌で呼びかけ，'唖蝉坊は２度の中止を食う'と評判だった。この間，貧民問題・廃娼問題などにも活動し，
ロシア革命・1917＝45歳：
本格政党内閣1918＝46歳：_若手演歌者に助力を求められて演歌組合{青年親交会}を設立。「世界一周の歌」好評に続いて，
ﾍﾞﾙｻｲﾕ条約・1919＝47歳：_雑誌{解放}創刊号のために「解放節」を作詞するが，発売禁止となる。
大暴落・・・1920＝48歳：_流行歌の小雑誌{演歌}を発行。
原敬首相暗殺1921＝49歳：_「お国節」が好評で，ついに全国85章をつくり，試みてきた新たな演歌が確立する。
水平社結成・1922＝50歳：_{演歌}を{民衆娯楽}と改題し，幅広い問題を扱う。
関東大震災・1923＝51歳：<関東大震災>で焼け出されるも，「大震災の歌」を創作。
治安維持法・1925＝53歳：*突然桐生に移り，半仙人的生活に入る。
円本時代始・1926＝54歳：前橋で{迷信打破講演会}を開催。
金融恐慌・・1927＝55歳：岐阜で{運命予言}を開催。
海軍軍縮条約1930＝58歳：「生活戦線異状あり」を作詞。
満州事変・・1931＝59歳：堺利彦に自らの伝記執筆を依頼するが，彼の発病により未着手となる。
芥川直木賞始1935＝63歳：_一切を忘れて透明の境地に達すべく，四国・中国・九州への遍路に出発，
日中戦争始・1937＝65歳：
大政翼賛会・1940＝68歳：_遍路を終え，
日米開戦・・1941＝69歳：_自伝「唖蝉坊流生記」を刊行して，

年金+総武装 1944＝72歳：_没した。

シリーズ「人間の記録」，「この人どんな人」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，